

3/30 (火) 国登録有形文化財 登録プレート伝達式

菊池市第1号の国登録有形文化財に「姫井橋」(馬橋)が登録され、登録証および登録プレート伝達式が熊本県教育長室で行われました。山本隆生教育長より、「姫井橋は、その当時に隈府が製材業の中心地であったことをうかがい知ることができる貴重な資料です。地元の愛着により保存されたことに敬意を表し、今後の積極的な活用を期待します」との言葉をいただきました。今後は、文化財として保存しつつ、積極的な活用が望まれます。



姫井橋(上)、登録プレート(右)

3/26(金)～3/29(月) 満開の桜に快音が響き渡りました

第3回春季全日本小学生女子ソフトボール大会が、多目的グラウンドと七城総合グラウンドで開催され、全国から48チームが参加しました。桜も見ごろを迎え、青空が広がる中、選手たちは熱戦を繰り広げました。大会開催地枠として参加した菊池ジュニアソフトボールクラブ(吉田隆史監督)は、愛知県代表の原クラブと対戦。惜しくも2回戦敗退となりましたが、必死にボールを追いかける選手に、応援にかけつけた保護者たちから声援が送られました。



真剣な表情でバッターボックスに立つ選手

3/29 (月) 熊本県社会福祉功労者 および団体等知事表彰

社会福祉の向上に特に著しい功績のあった人や団体に対し贈られる平成21年度熊本県社会福祉功労者および団体などの県知事表彰が決定し、福村市長から表彰状などの伝達が行われました。

菊池市からは、発声教室ボランティアの長谷川和佳子さん、録音図書ボランティアの葉室蘭子さん、社会福祉法人理事の城重信さん、菊池市視覚障害者福祉協会副会長畑中サナエさんの4人が表彰されました。受賞、おめでとうございます。



受賞された4人の皆さん

3/7 (日) 菊池青年会議所が 菊池公園で植樹活動

社団法人菊池青年会議所から、桜の老木5本の伐採と桜の木5本の寄付がありました。

菊池青年会議所では、これからの菊池市を考える活動として、大切な観光資源である菊池公園の桜の木を未来に残すことを目的に、青年会議所の会員24人が菊池公園を中心に老木の伐採と植樹を行いました。現在、桜の老木化が進行していると聞き及び、少しでも手助けとなるよう企画をされたとのこと。作業お疲れ様でした。

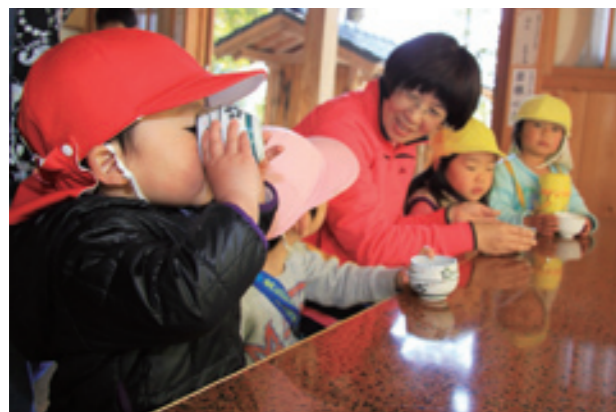


菊池青年会議所会員による植樹活動

4/8 (木) 地域住民と 交流しました

北合志保育園(岩根治美園長)の園児24人が、旭志岩本地区にある円通寺で見ごろを迎えたシャクナゲに囲まれ、地域の人たち手作りのまぜご飯やあんこもちを食べるなど交流を楽しみました。

地元の人に顔を覚えてもらおうと、岩本地区に住む園児の紹介もあり、岩根園長が「こうやって温かく迎えていただきとても感謝しています」と話すと、園児たちも声をそろえて「ありがとう」とお礼を言っていました。



甘茶をもらいおいしそうに飲んでいました

3/23 (火) えこめ牛試食会が 開催されました

菊池地域で生産される米を餌として与えた国産牛の名称が「えこめ牛」に決定し、その発表会が菊池グランドホテルで開かれました。この愛称は多数の応募の中から、千葉県の有安忠男さんがエコと米をかけて名づけたものです。当日は女子小学生熊本応援バンド「Book Bear」のイメージソングも発表され、作詞・作曲された原田靖士さんが「菊池牛の普及に協力できる歌に仕上げたい」と今後の意気込みを話されました。



三角副組合長(左から3番目)と原田さん(左から2番目)

3/27 (土) ワカサギのふ化箱を 設置しました

菊池川漁協(緒方 奨組合長)が、竜門ダム湖畔にワカサギの卵が入ったふ化箱を設置しました。卵はふ化箱から約2週間程で、ダム湖内にふ化し、成長します。

設置した同漁協の組合員は、「ふ化箱を設置したので、釣りに来られた人はあたたかく見守ってほしいですね。また、最近はブラックバスを専門に釣る人が増えていますので、ダム湖内に戻さずに1匹でも持ち帰ってほしいですね」と話していました。



ワカサギのふ化箱(1,000万粒)

2/14(日)～4/11(日) 菊池さくらまつり

菊池市民広場一帯で菊池さくらまつりが開催されました。菊池わいふのひなまつりでは、菊池夢美術館に350体のお雛様が展示され、来場者は一つひとつじっくり観覧していました。また、つるし雛の展示もわいふ一番館でありました。

3月20日(土)には、「第1回ザ・イケ武者コンテスト」が開催されました。64人の応募の中から選ばれた24人のイケ武者が、個性あるアピールを行い会場を沸かせました。



わいふ一番館のつるし雛